

# 幼児の スモック一案



柳 沢 澄 子

幼い子どもの生活は大部分が遊びであつて、この遊びの中で心身の発育がいとなまれます。上肢、下肢を思う存分動かして、一ときもじつとしていない生活、この元気な生活活動をさまたげないように服を着せたいものです。

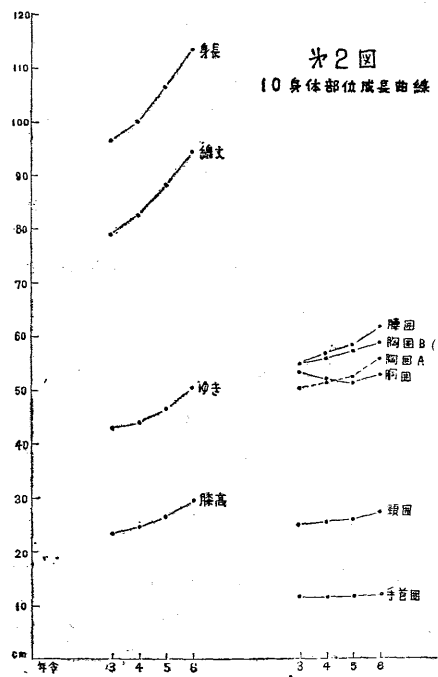
それには子どもの体型と動作に適した形や組合わせの服であることが必要ですし、また汚しても洗濯しやすく、洗濯しても色がさめない、生地もいたまない、形もくづれないという服が望ましく、こういう条件をそなえたきものは親にも子にも何より嬉しいきものでありましょう。

きゆうくつな重いきものは、上肢、下肢の運動をさまたげ、血液のじゆんかんをわるくし、自由にのびのびと跳びはねることをさまたげます。バンドやパンツのゴム紐のきついのや、腋下や膝下のきゆうくつなのは、何となく気になるものです。しかしまた服はゆつくりしすぎても動作の自由をさまたげます。二年も三年もそのまま着られるようにと沢山のゆとりを入れて作つたり、大き過ぎる服を求めないで、子どもの実際の寸法に従つ

の平均値・標準偏差・範囲・増加量(単位cm)調査(昭和23年)

4歳				5歳				6歳			
51cm				47cm				55cm			
平均値	標準偏差	範囲	平均値の増加	平均値	標準偏差	範囲	平均値の増加	平均値	標準偏差	範囲	平均値の増加
100	4.0	90~112	3.5	106.5	4.7	96~116	6.5	113.5	4.2	106~122	7
82.5	3.8	72~92	3.5	88	4.4	80~96	5.5	94.5	4.1	86~106	6.5
24.5	1.4	21~28	1	26.5	2.0	23~31	2	29.5	1.7	26~34	3
4.4	2.0	40~50	1	46.5	2.4	42~52	2.5	50.5	2.4	46~56	4
51.5	2.4	46~56	1	52.5	2.7	48~58	1	56	2.6	52~62	3.5
56	1.8	50~60	1	57.5	2.8	50~64	1.5	59	2.9	52~66	1.5
52	2.4	48~58	-1.5	51.5	2.6	46~60	-0.5	53	2.9	46~60	1.5
57	2.7	52~64	2	58.5	2.6	54~62	1.5	62	2.7	56~70	3.5
25.5	0.9	23~28	0.5	26	1.1	24~29	0.5	27.5	1.3	25~30	1.5
11.5	0.5	10.5~13	0	11.5	0.6	10.5~13	0	12	0.6	11~13	0.5

講座

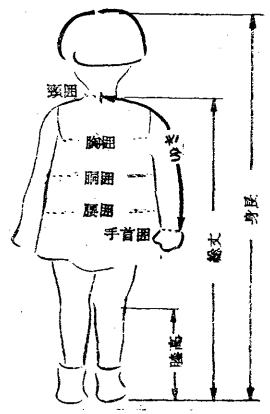


★2図  
10 身体部位成長曲線

第2表

	総丈 a	膝高	a—4 歳の着丈
3才	55.5		5.5
4	58		8
5	61.5		11.5

て、毎年その子の体に合った服を着せる工夫が必要で、最小限の必要数と手入れの計



大体の傾向をみるのには役立つでしょう。

画、大きく直すことの出来るデザインの工夫など、計画的に子ども衣生活を設計することにより、簡単に成長に合った服を着せることが可能でありましょう。  
 それでは、幼児の体はどのような発育を示すでしょうか。一例としてお茶の水女子大学附属幼稚園の女児について、身体計測を行った結果をみますと次のようであります。この調査対象は限られた範囲の子どもたちですが

第1表 お茶の水女子大学附属校園女児

項目	単位	3才 8人		
		平均値	標準偏差	範囲
身長		96.5	3.0	92~102
総丈		79	3.4	74~86
膝高		23.5	1.2	22~25
ゆき		43	1.5	40~44
胸圍 A	(裸体)	50.5	1.1	50~52
胸圍 B	(下着の上から)	55	1.1	54~56
腕圍	( )	53.5	2.1	50~56
腰圍	( )	55	1.5	52~56
頸圍		25	0.8	24~26
手首圍		11.5	0.6	10.5~12

身長は三才から四才迄で平均約三・五種四才から五才迄で約六・五種伸び、それから小学校に上る迄の一年間に約七種伸びていることがわかります。服に関係のある総丈でも大体同じ位の増加を示していますが、次にこの総丈と膝高との差(a)をみますと第2表のようであります。服の着丈は身長を基にして割出すのが便利で普通子ども着丈は身長 $\frac{1}{2}$ としますが、今四才の平均着丈五〇種

と各年令の(a)とを比較してみますと、第2表に記入の通りであります。つまり各年令で膝上何糎のところの裾があるかを示しています。四才で丁度よい服の着丈(膝上八糎ぐらい)は三才では膝上約五糎で長すぎ、五才では約一二糎ほどになり短かすぎます。このようにぐんぐんのびる身長に応じるためには、勢い裾に折込みを多く入れたり、時には裾に揚を作ったりする工夫がとられ勝ちですが、裾を重くして、服の重量を増すことは、小さい子どもにとって迷惑なことはいふ迄もありません。

ゆきについては、平均値の増加は三才から四才迄で約一糎、四才から五才迄で約二・五糎、それから小学校に上る迄に約四糎も増しますが、着丈と同様なるべく袖先を軽くして成長に応じて別布を足して行く工夫が望ましく、手や腕の運動を出来るだけきまげないようにしたいものです。

胸囲B・胸囲・腰囲は合の下着を着けた上から計測したのですが、胸囲についてみますと、四才の平均値は五六糎、標準偏差一・八糎であります。つまり五六糎を中心として

その前後に一・八糎を増減した範囲約五四糎から五八糎の間に全体の約2/3が含まれる訳であります。五才の平均値は五七・五糎、標準偏差二・八糎であります。各年令の平均値の増加一糎及び一・五糎より、同年令間の個人差の方が大きいことがわかります。

尚小さい子どもは、案外頸囲が大きく、手首も太いことが第1表からうなづけます。服を作る時これ等に應じる寸法上の考慮が必要になる訳であります。

以上体型とその發育状態を服に関連して簡単に考察してみました。これ等を参考として、幼児に親しまれているスモックの一案を後に述べるつもりです。

次に子どもは成長に似つて、自分のことは自分でしたがるようになりすから、機会をとらえて着衣についての自立心を養うことが必要です。三才ごろの幼児は自分の服についているボタンをいじることに興味を持っています。このころから指先の運動が発達して来ます。とめやすいボタンをとめやすくつくとめやすいボタン穴を用意しておけば、苦勞なくひとりでボタンかけが出来るでしょう。

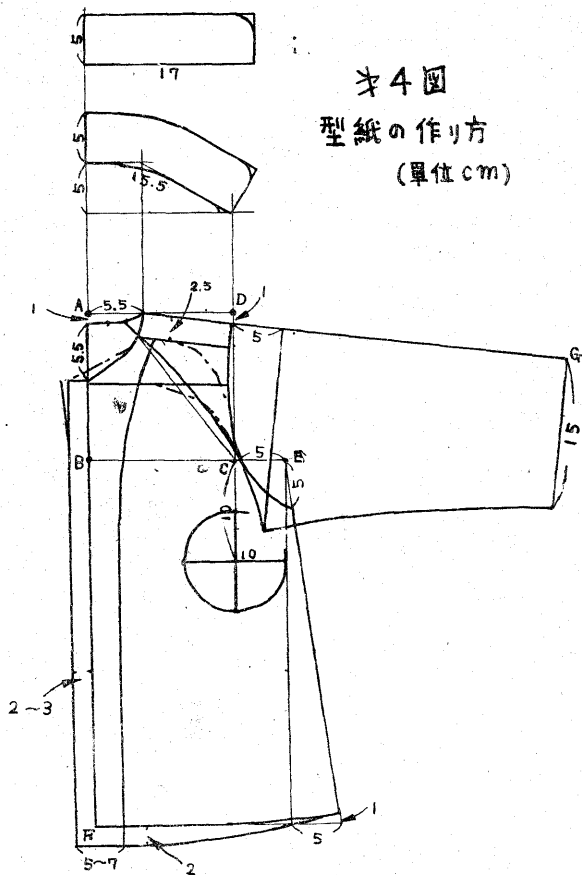
東京における幼稚園児三〇〇人ほどについて着衣に関する調査を行った結果によりますと、前開きの上衣は四才になると六五%の子どもが着られますし、五才では九八%すなわちほとんど自分で着られるようになります。服の前ボタンは四才三ヶ月で七〇%とめられますし、五才では大部分の子どもがとめられます。後ボタンのとめられるのは、五才九ヶ月で二〇%にも達せず、とめにくいことがわかります。服の前スナップは四才で八八%とめることが出来ますので、スナップはボタンよりとめやすいことがわかります。

着やすく脱ぎやすく、用便に都合のよいように形・組合わせ・留め方などを工夫して、五才ごろまでに自分でひととおりのことが出来るように導きたいものであります。

またなるべく薄着の習慣をつけるよう、服の材料や重ね方に工夫が要りますし、滑けつなきちんとした着衣の習慣を身につけてやるためにも数々の温かい心づかいが必要でありましょう。

以上のことを考慮に入れて、幼稚園や保育所に通う子どもたちに重宝なスモックについ

### ※4圖 型紙の作り方 (単位cm)

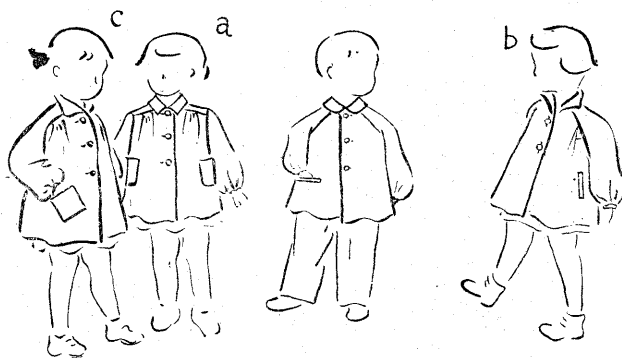


て述べることにしましょう。保育所の一隅にでも型紙を用意して、お母様方の利用に便するの一手法です。

寸法は四才用として、身長一〇〇糎、胸まわり五八糎を用いてみました。スモックの着丈は身長の一 $\frac{1}{2}$ 又はそれより五糎ぐらい短

かくしますが、はじめは服と対丈にしておき、成長してだんだん短くなってよいでしょう。ゆきの短くなった場合は着用困難ですが、スモックの着丈は大丈夫です。胸囲は五八糎にゆるみが全体で二〇糎加わりますから七八糎となり、胸囲だけから見れば、四才の

最大六〇糎、六才の平均五九糎の子どもで利用出来る訳であり、四・五才の最小胸囲五〇糎の子どもでは二八糎のゆとりとなります。ゆきは四才の平均は四四糎ですが、これに腕の屈伸に必要な約四糎を加えて、四八糎



とします。翌年四六・五糎(五才の平均値)にのびた場合一・五糎のゆとりしかありませんので、袖口のゴムをゆるい目にするか、袖口に足し布をするかしなければならぬでしょう。

次に製図の方法を述べましょう。簡単化するために前後左右を重ねてあります。

ABCD 胸囲の正方形 (AB=AD=14.5cm)

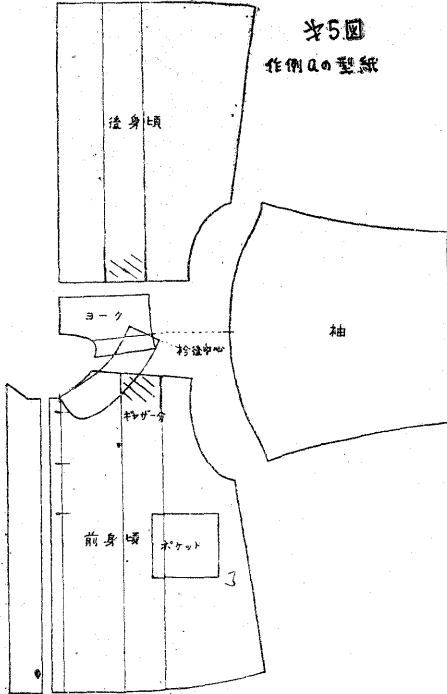
CE ゆるみ5cm (全体で20cm)

AF 着丈+1

cH (51cm)

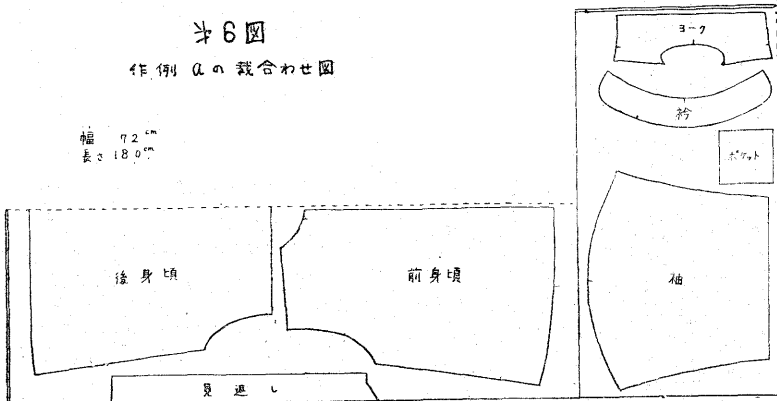
先ず作例aについてみますと、基本線を書き、前後のえりぐりを図のようにきめ、肩下りをつけ、袖ぐりをE点から五糎ぐらい下までくり下げます。袖ぐり寸法は四二糎ぐらいになるでしょう。脇は裾で五糎ぐら

い斜に出し、前下りは二糎ぐらい。前重りは四一六とします。ヨークは前二・五糎後六糎ぐらいとして切りはなし、前後にギヤザード分六糎内外入れます。袖山は五糎ぐらいとし、くり下げた身頃の袖ぐり寸法と同寸法になるよう図のように決め線を書きます。袖口はゴムを入れるものとして一五糎内外、袖下は図のように少しくつておきます。衿ぐりは図に記入してある寸法で画きますと三一糎ぐらゝ



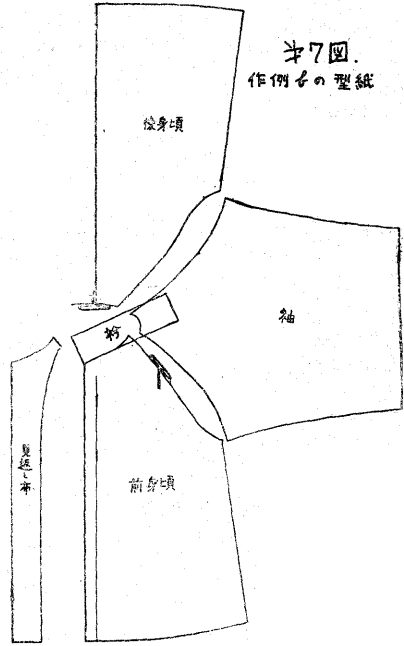
★6図 作例aの裁合わせ図

幅 72cm  
長さ 180cm

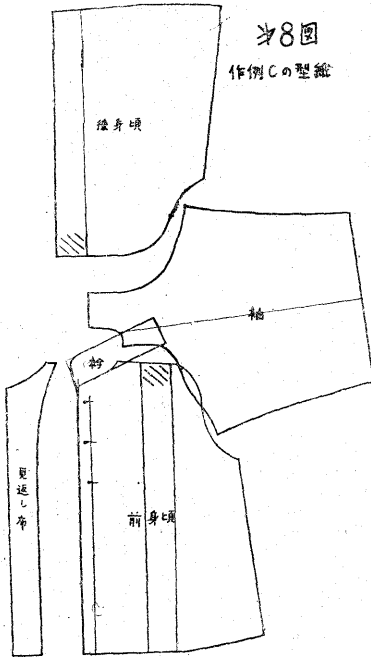


になります。このような衿は着方によって、衿ぐりの寸法を変えなければなりません。セーター類の上に重ねるスモックならばこのぐらいでよろしく、衿のついたブラウスや和服の上に着る場合には、これでは小さいことは当然であります。必要に応じて身ごろの衿ぐりを大きくし衿の衿つけ寸法を増してよいのですが、大きくしすぎるとだらしなくなり勝ちですから注意が肝要です。ボタンは二ヶ側のボタンは後側のボタンよりとめやすいこ

★7図  
作例4の型紙



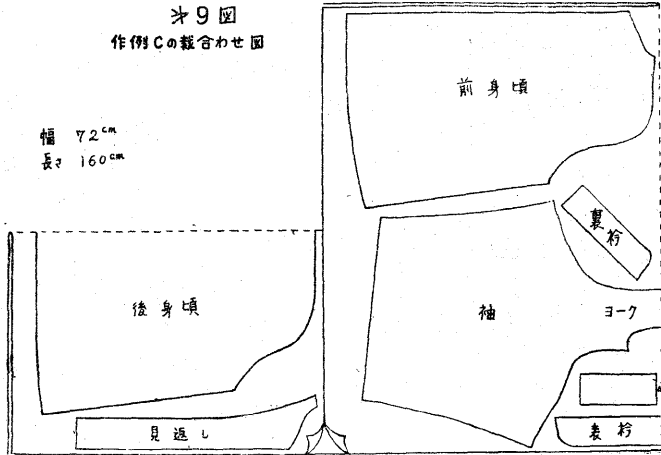
★8図  
作例Cの型紙



とは前述の通りですが、前ボタンの中でも留め易い位置がある筈です。一番上のボタンをよくはずしているのを見かけますが、多少位置を下げることにより容易くとめることが出来るようです。以上製図が出来

ましたら、第5図のように前身頃・後身頃・見返し・ヨーク・袖・衿・ポケット等の型紙を揃えて第6図のように布を見積りませう。  
bのラグラン袖は、着やすく、肩幅の成長にも応じることが出来ます。ラグラン袖の基準線は衿ぐりを三分分する点から、袖ぐりの曲線に接線をひきこれに丸みをつけます。第7図は前身頃・後身頃にひだをとって、その構成を示したものであります。  
cは普通袖とラグラン袖との中間にあるもの、第4図にはヨークの線を破線で示してあります。ギャザーやスモッキングを入れると

★9 図  
作例Cの裁合わせ図



ゆっくりしますし、可愛らしくなります。衿は長方形の衿をつけて自然に開いたもの。着せる子どもの体型によってボタンの位置をき

めたいものです。以上いづれも仕立も手入れも、簡単なものを選んで次第です。材料やデザインによって四季を通じて用いられますし、前中心の重ね方で男女いづれでも利用出来ます。材料は洗濯しやすいギンガムや丈夫なビニロン織物など、おし気なく用いられるものがよく、小柄な紺紺なども適切な材料でありましょう。用布はシングル幅（七十二厘ぐらい）一八〇厘内外（着丈の二倍と袖丈の二倍）必要でありませう。尚成長に伴う足し布やいたんだ場合の予備として多少余分に見積っておく方がよろしいでしょう。

用意する型紙のサイズは一種類でも、各部の寸法を適宜増減することにより、かなり広範囲に利用することが出来ます。またその地方の着方や習慣などを考慮に入れて、その土地にふさわしいスマートのデザインを、型紙を考案し、能率的製作が出来れば一層有意義なことでありませう。服全体を覆うスモックを着せることにより、服の汚れやいたみは半減する訳です

が、保育所の一隅に、研究された型紙が用意され、利用されることを希望するものです。  
(お茶の水女子大教授)

★子どもはくぶつかん★

このたび、キンダーブックは、美しい別冊付録「子どもはくぶつかん」を、お送りいたすことになりました。お子様方の知識を広め、夢を与え、動きを与える理想的な観察附録であります。

四月、五月、六月号には、「のりものおへや」をとりあげ、お子様方の大好きな乗物を六つに分類して、四月は楽しい乗物と自動車のなかま、五月には飛行機と汽車のなかま、六月は動物の乗物と船のなかまを、いづれも美しい色刷にして毎月お送りすることに致しました。尚この美しい絵は、あらかじめ画かれた墨絵の上にお子様方自身で貼っていただく様になっており、その完成の日をお祈りいたします。

—— フレーベル館 ——